

株式会社 NAGAZON 設立に向け、始動！！

何年かぶりに紅白歌合戦を視聴した 2021 年の暮れ。アニメから飛び出したようなその人は、マイクと腕を包帯でぐるぐる巻きにして「命に嫌われている」を熱唱していました。YouTube 登録者数は 330 万人を超え、若者に絶大な人気を誇るアーティスト「まふまふ」。彼が歌う歌詞を目で追いながら、「生徒たちや若者の心は、今こういうところに在るのだな」と思いを巡らす年の瀬でした。明けて 2022 年。今年の干支は、「寅」の中でも壬寅（みずのえとら）で、「春の胎動、新たな成長」を意味する年です。この縁起の良い年に、(株) NAGAZON を設立できることに感謝しつつ、生徒、保護者と地域の皆さま、教職員、この長田商業高校が、更に成長・発展する一年となることを祈念します。

株式会社設立に向けた講演会・保護者説明会

11月24日（水）に、全校生と保護者対象に実施しました。校長からは、「(株) NAGAZON 設立に向けて」と題し、「何故、定時制商業高校で株式会社を設立する必要があるのか」をスライドで説明しました。

20年後47%の仕事がなくなる！？

Volatility 変動性	Uncertainty 不確実性
Complexity 複雑性	Ambiguity 曖昧性

VUCA時代

21世紀型スキル

批判的思考力

協調性

コミュニケーション

創造性

これからの社会を豊かに生きていくために。

創造ビジネス科 × (株)NAGAZON,inc

リアルな学び

NAGAZON,inc

(株)NAGAZON, inc

```

graph TD
    A[株主総会] --- B[全生徒]
    A --- C[取締役会]
    B --- C
    D[監査役] --- C
          
```

C B 部・・・Creation Business (R 4年新設部活動)

創造ビジネス科経営イメージ

```

graph TD
    Root[経営会議] --- M[管理部門]
    Root --- O[営業部門]
    M --- M1[総務企画部]
    M --- M2[C B 部]
    M --- M3[経理管理部]
    M --- M4[C ライセンス部]
    O --- O1[IT 事業部]
    O --- O2[第一販売部]
    O --- O3[第二販売部]
    O --- O4[第三販売部]
    O --- O5[イベント企画部]
          
```

変動性、不確実性、複雑性、曖昧性、このような性質を持つ VUCA 時代に、子どもたちは巣立っていかなければなりません。定時制高校生であってもそれは同様であり、こうした社会を生き抜くために、批判的思考力、コミュニケーション能力、協調性、創造性が必要とされています。私たち長田商業の教職員はそのことを真剣に考え、こうした力を、責任をもって生徒たちにつけるために、生徒が株主となり会社の仕組みを実物で学び、商品開発や経理事務

にも取り組む「リアルな学び」を、本物の株式会社を設立することを通して創りあげたいと考えています。こうした実践を新たなカリキュラムに落とし込んで、令和4年度には、商業科を創造ビジネス科として生まれ変わらせます。(株)NAGAZONの活動を通して、長田・神戸の皆さまとともに、ビジネスを通じた地域創造に少しでも貢献できることを願ってやみません。

校長の説明の後、(株)NAGAZON設立に多大なるご協力を賜っている、司法書士、公認会計士の先生方にそれぞれご講演をいただきました。

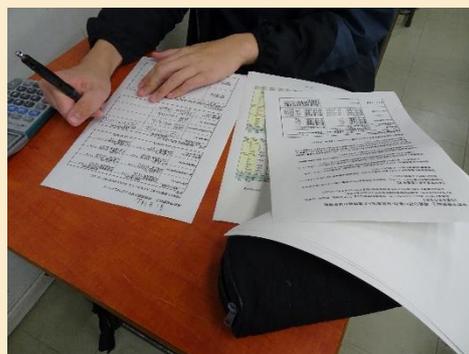
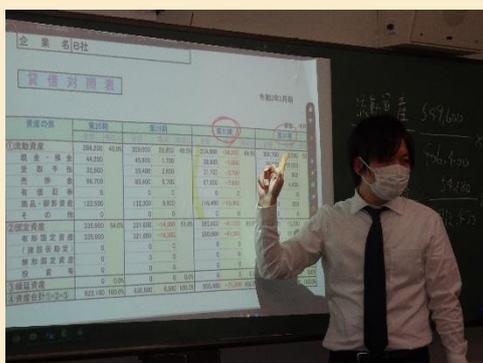


「株式会社とは」～株式会社の仕組みと運営～

司法書士 金光 康太 先生

「決算書の読み方」～決算書から会社の経営状態を考えてみよう～

公認会計士 續谷 泰一 先生



金光先生からは、株式会社の仕組みや設立までの流れ、株主の役割等についてご教示いただきました。また、續谷(つづきたに)先生からは課題をいただき、事前学習で実際の決算書を生徒が各自で分析したうえで、講演会で解説をしていただきました。

昨年は、実際の株式会社を設立して教育活動で成果を上げている、指宿市立指宿商業校高校、岐阜県立岐阜商業高校、茨城県立常陸大宮高校を各3~4名の教員が訪問し、研修を行いました。また、1月には金澤商業高校を訪問する予定です。「生徒、地域の未来のために」という熱い志で教育活動に臨む各校の先生方の姿に感動いたしました。續谷先生、金光先生、取締役をお引き受けいただきました皆さま、そして同窓会の皆さま等ご協力いただきました全ての皆さまに心から感謝を申し上げます。定時制高等学校による日本初の挑戦となりますが、2022年が長田商業高校にとって大きな一歩となることを確信しています。